

下水道だより

未来に引き継ぐ下水道 vol.16

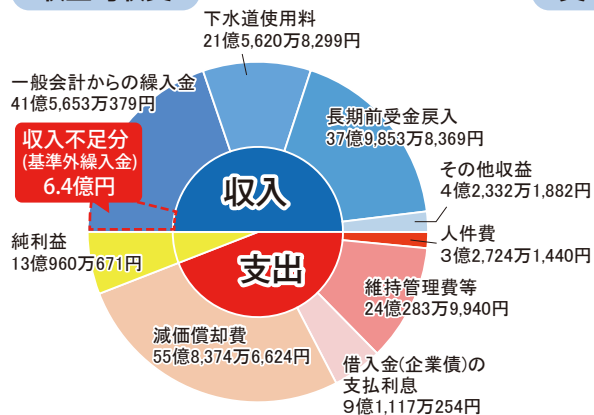
令和4年12月1日発行
上下水道管理課

☎237-5811 FAX 237-5819

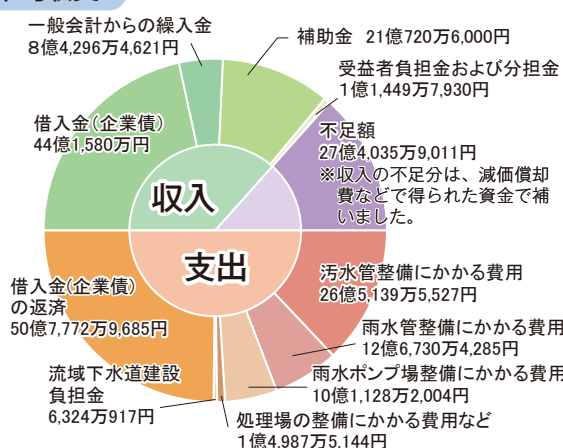
津市の下水道事業をもっと知っていただくために、下水道事業の現状・課題・経営状況をシリーズでお伝えしています。今回は下水道事業の令和3年度の決算状況を見ていきます。

令和3年度決算を見てみよう！

収益的収支



資本的収支



業務量の概要 (令和4年3月31日時点)	
行政区内人口(A)	27万2,875人
処理区域内人口(B)	14万4,952人
水洗化人口	12万6,023人
普及率(B)/(A)	53.1%
年間収水量	1,462万1,954m ³

収益的収入	105億3,459万8,929円
収益的支出	92億2,499万8,258円
純利益	13億960万671円

※税抜き

資本的収入	74億8,046万8,551円
資本的支出	102億2,082万7,562円
収支差引	△27億4,035万9,011円

※税抜き、△はマイナスを表す

- 収益的収支…その年度の汚水処理などに必要な費用と収益(主に下水道使用料)
- 資本的収支…下水道を将来にわたって継続するために必要な施設の整備や拡充などに係る支出と、それを行うための財源となる収入(補助金や借入金)

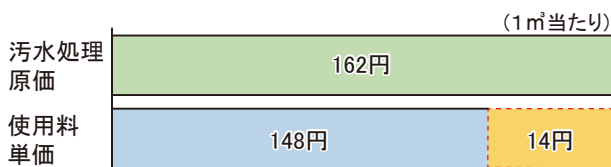


令和3年度の決算は、令和2年度と比べてどうかな？



令和2年度よりも下水道を利用できる人が増えたから、使用料収入は約1,900万円増えているよ。それでも、汚水処理原価に比べて1m³当たりの使用料単価は14円不足しているんだ。

汚水処理原価と使用料単価の比較(令和3年度決算値)



汚水処理原価: 1m³の汚水を処理するのに必要な費用
使用料単価: 1m³当たりの使用料収入

図のように使用料単価が汚水処理原価を下回っているということは、使用料収入で処理費用が賄えていないことを表します。



不足分はどうするの？



これは一般会計からの基準外繰入金、つまり皆さんからの税金で補っているんだよ。

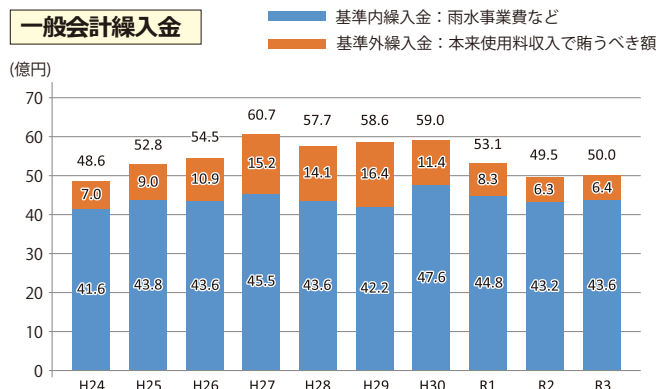


企業会計は、本当は事業に必要な費用を使用料収入で賄う必要があるんだよね。一般会計からの繰入金は毎年減らせているの？



下のグラフで見ると、基準外繰入金は平成29年度をピークに減ってきているね。でも依然として多額の繰入をしているから、まだ適切な使用料収入の設定とは言えないんだ。

一般会計繰入金



令和3年度はどんな事業が進められたの？



主な事業の実績を次のページで解説するね。